

表-2 空間ガンマ線量率及び海中全ガンマ線計数率の評価結果
(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因 ※3 データ数(個)				空間ガンマ線量率 調査レベル ※4						
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					割合(%)	1月	2月	3月	合計	1月	2月	3月	合計	設定値 (nGy/h)	<参考>				
			1月	2月	3月	合計	1月											2月	3月	合計	割合(%)	
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	36.1	70	155	131	356	2.75	
	飯子浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	49.0	82	149	152	383	2.96		
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	55.5	81	157	170	408	3.15		
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	42.6	76	116	121	313	2.42		
	鮫浦	3.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	57.6	66	114	133	313	2.42		
	谷川	3.9	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	55.6	76	146	151	373	2.88		
	荻浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	60.9	70	177	182	429	3.31		
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	56.3	80	156	156	392	3.03		
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	46.0	79	160	150	389	3.01		
	江島	2.6	4	0	0	4	0.03	0	0	0	0	0	0	0	39.2	87	187	191	465	3.59		
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	61.4	79	151	156	386	2.98		

- ※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして12960個/局である。
- ※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。
- ※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。
- ※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

(2) 放水口モニター

調査機関	局名	海水(放水)中全ガンマ線計数率 調査レベル ※5						発電所起因 ※7 データ数(個)			
		設定値 (cpm)	超過数(個) ※6					1月	2月	3月	合計
			1月	2月	3月	合計	割合(%)				
東北電力	1号機 放水口モニター(A) ※8	346	-	-	(768)	(768)	(66.67)	-	-	0	0
	1号機 放水口モニター(B) ※8	327	-	-	(837)	(837)	(72.66)	-	-	0	0
	1号機仮設 放水口モニター ※9	421	172	163	702	1037	8.46	0	0	0	0
	2号機 放水口モニター	449	2	0	0	2	0.02	0	0	0	0
	3号機 放水口モニター	500	4	0	2	6	0.05	0	0	0	0

- ※5 調査レベルは前2ヵ年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。ただし、1号機仮設放水口モニターの調査レベルは令和4年度第2四半期の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。
- ※6 1号機放水口モニターは、2号機及び3号機放水口モニターとは測定環境が異なるため、海象条件他の要因による天然核種の影響により計数率が上昇しやすく、超過数(個)が多くなる傾向がある。
- ※7 発電所起因の有無については、発電所運転状況及び気象等を用いて評価している。
- ※8 1号機放水口モニター(A)及び(B)の欠測は、1号機流路縮小工事による放水路内の水位低下に伴い、測定ができないことによるものであり、令和4年7月7日に測定を停止し、令和5年3月24日から測定を再開した。また、()は、有効データ数が当該月及び当該四半期の半数に満たないことから参考値扱いとしたことを示す。なお、今四半期は海水系ポンプを停止していたため、検出器付近の天然放射性核種を多く含む淡水の割合が大きくなり、調査レベル超過数が増加した。
- ※9 1号機仮設放水口モニターは、令和4年7月7日～令和5年3月23日の期間、本設備の代替測定を実施し、令和5年3月24日～3月29日の期間は、本設備と並行測定を実施した。また、下線部は、1号機仮設放水口モニターの評価結果であることから、参考値扱いとしたことを示す。